

GMOクラウド株式会社

証券コード：3788

2017年12月期 通期決算説明会

代表取締役社長 青山 満

専務取締役 閑野 倫有

GMO CLOUD

1. GMOクラウド会社概要

2. 2017年12月期通期決算概要

3. 事業概況

- ✓ クラウド・ホスティング事業
- ✓ セキュリティ事業
- ✓ ソリューション事業

免責事項

- ✓ 本資料の内容は、作成日時点において、一般的に認識されている経済・社会等の情勢ならびに当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- ✓ 本資料及びその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者がその他の目的で公開または利用することはできません。

1. GMOクラウド会社概要

GMOクラウド会社概要

会社名	GMOクラウド株式会社
証券コード	3788 (東証一部)
設立	1997年 5 月 株式会社アイル
事業内容	総合インターネットサービスの提供
主力事業	<ul style="list-style-type: none"> ■クラウド・ホスティング事業 <ul style="list-style-type: none"> -クラウドサービス・ホスティングサービス ■セキュリティ事業 <ul style="list-style-type: none"> -電子認証サービス、IDアクセス管理クラウドサービス ■ソリューション事業 <ul style="list-style-type: none"> -WebソリューションO2O、ネットワークエンジン、電子契約、 車両流通、車両遠隔診断
親会社	GMOインターネット株式会社 (東証一部：9449) 被持株比率51.3% * 2001年5月 GMOインターネットグループへ参加
子会社	15社 連結13社(国内6社、海外7社) 非連結2社(海外2社) (2017年12月末現在)
従業員数	連結 937名 (2017年12月末現在)

【インターネットの安全を支える】

1. 安全なクラウド基盤の提供
(クラウド・ホスティング事業)
2. 電子認証により、通信（取引）を守る
ID管理により、利用者の入り口を守る
(セキュリティ事業)

【企業のクラウド利用を支える・便利にする】

3. 「O2Oアプリ」「ネットワークエンジン」「電子契約」
「車両流通」「車両遠隔診断」
(ソリューション事業)

2. 2017年12月期 通期決算概要

セグメント別トピックス

クラウド・ホスティング事業

- 利益構造見直しのため、マイグレーション（商材統廃合）継続
- 販売体制強化、商材強化のため「SiteLock CDN」の提供開始

セキュリティ事業

- マイナンバー制度利用の「GMOオンライン本人確認サービス」を共同印刷（株）が採用
- IDアクセス管理クラウドサービス「SKUID byGMO」、SAML認証によるシングルサインオン対応先順次拡充

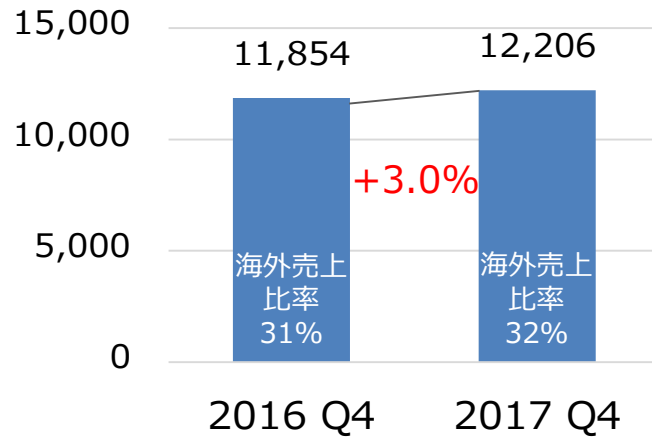
ソリューション事業

- 「IoTの窓口 byGMO」設置し、様々な実証実験を実施
- スピード翻訳株式会社を譲渡

2017年 通期連結決算概要[年度比較]

単位：百万円

売上高



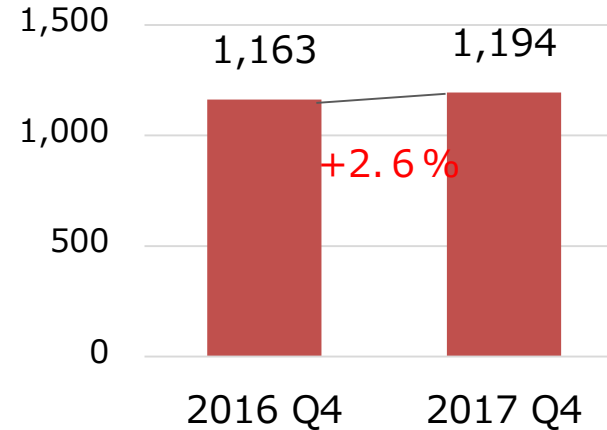
【プラス要因】

- ✓ セキュリティ事業が牽引
- ✓ カスタマーサポート受注増加

【マイナス要因】

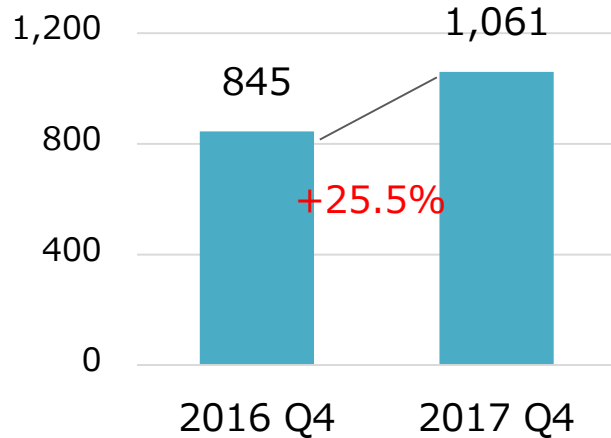
- ✓ 前年1ショット売上2.7億円剥落
- ✓ IAM事業譲渡に伴う減少1.5億円

EBITDA



※EBITDA: 営業利益+販売管理費減価償却費+のれん償却費

営業利益



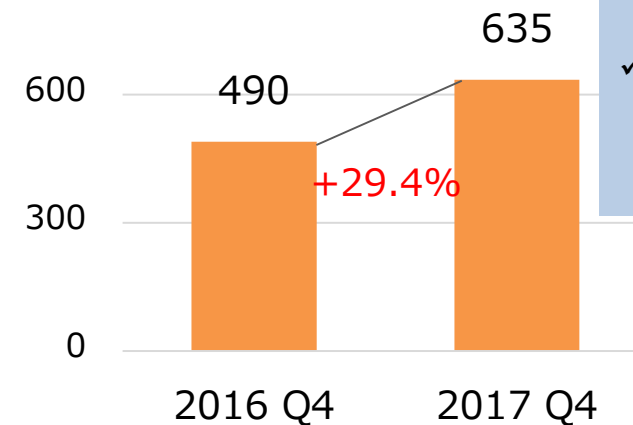
【プラス要因】

- ✓ 売上高の増加
- ✓ IAM事業のれん償却1.9億円が前期終了

【マイナス要因】

- ✓ IoT関連、新規事業に伴う費用増加

親会社株主帰属利益



【マイナス要因】

- ✓ 投資有価証券評価損1.6億円

2017年 通期連結決算概要[年度比較]

✓ 昨年のワンショット売上2.7億円、IAM事業売上1.5億円が無くなったが、海外を中心に好調推移

単位：百万円	2016年 通期実績	2017年通期 (修正前予想)	2017年通期 (修正後予想)*	2017年 通期実績	前年同期比
売上高	11,854	12,000	12,000	12,206	+ 3.0%
営業利益	845	950	950	1,061	+25.5%
経常利益	795	950	950	1,087	+36.6%
親会社株主 帰属利益	490	550	610	635	+ 29.4%
1株あたり 純利益(円)	42.47	47.58	52.95	55.17	—

※2017年11月30日に通期業績予想を修正発表いたしました

2017年 四半期別連結決算概要[四半期比較]

- ✓ 売上高総利益率の改善により営業利益は増加
- ✓ 投資有価証券評価損1.6億円計上により親会社帰属利益減少

単位： 百万円	2016年 4 Q	2017年 1 Q	2017年 2 Q	2017年 3 Q	2017年 4 Q	前四半期比
売上高	2,971	3,007	3,007	3,019	3,172	+ 5.1%
営業利益	189	273	203	248	336	+35.3%
経常利益	206	268	232	253	332	+31.1%
親会社帰 属利益※	72	186	176	183	89	-51.4%

2017年 通期セグメント情報 [年度比較]

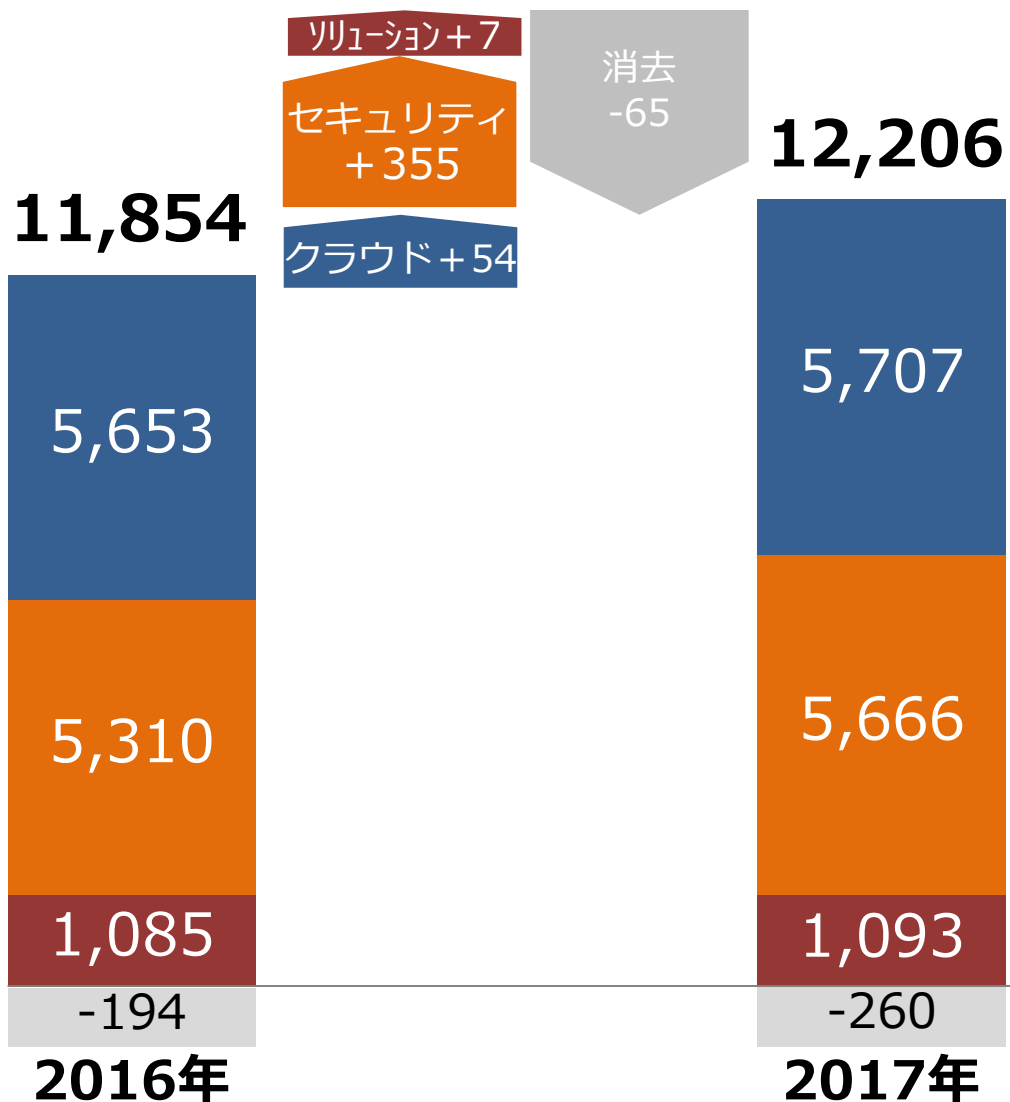
- ✓ セキュリティ事業は、海外中心に増収、IAMのれん償却終了も増益に貢献
- ✓ クラウド・ホスティング事業は、新規事業費用負担かさみ減益

売上高		百万円	
セグメント	2016年	2017年	前年 同期比
クラウド・ホスティング	5,653	5,707	+1.0%
セキュリティ	5,310	5,666	+6.7%
ソリューション	1,085	1,093	+0.7%
消去又は 全社	-194	-260	-
連結計	11,854	12,206	+3.0%

営業利益		百万円	
セグメント	2016年	2017年	前年 同期比
クラウド・ホスティング	358	263	-26.4%
セキュリティ	558	995	+78.3%
ソリューション	-76	-200	-
消去又は 全社	4	2	-
連結計	845	1,061	+25.5%

連結売上高 セグメント別増減要因 [年度比較]

(単位：百万円)



クラウド・ホスティング事業

- ・ 既存ホスティング減少するものの、クラウド売上は増加
- ・ 下関カスタマーサポート売上増加

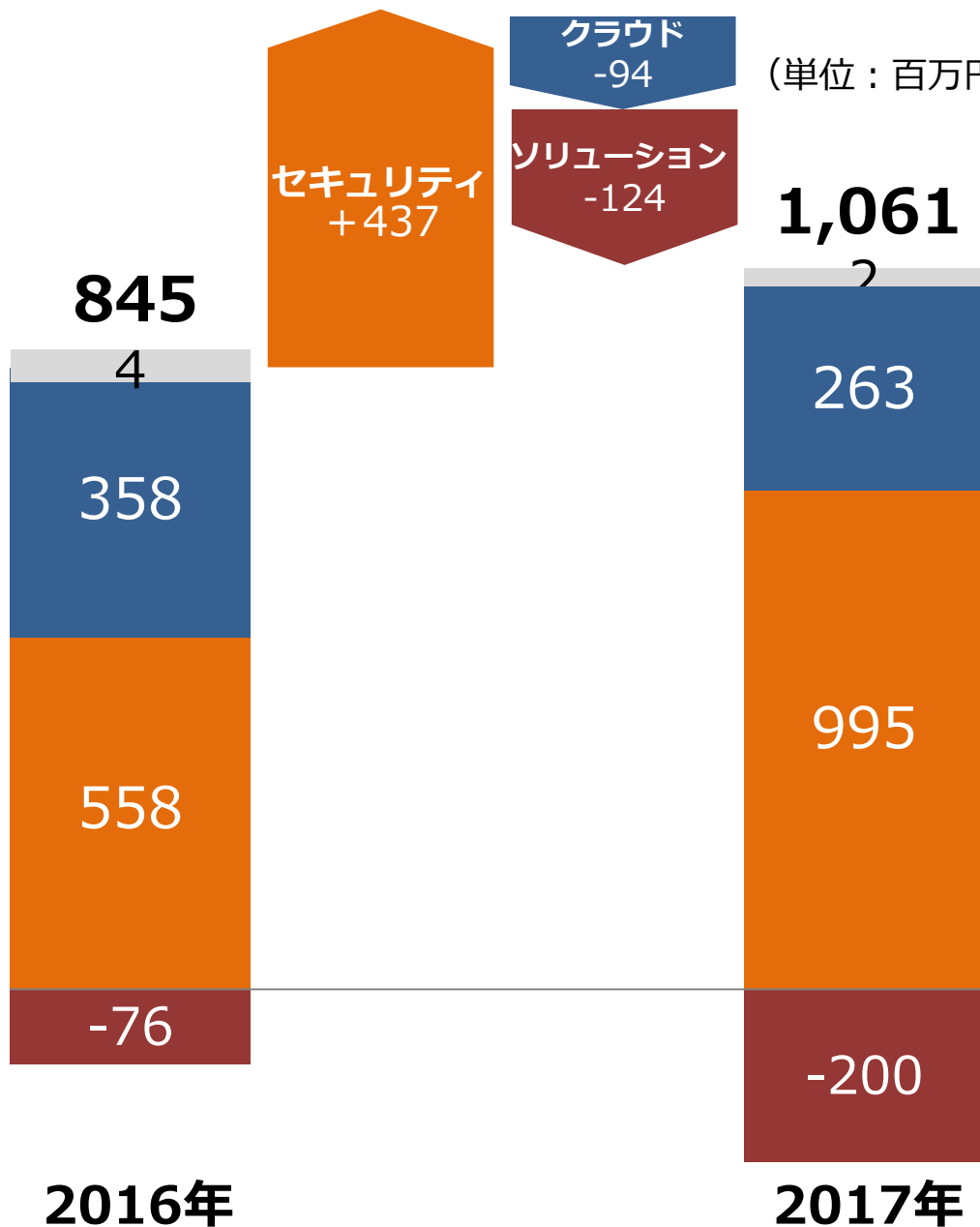
セキュリティ事業

- ・ 海外を中心に売上増加
- ・ 前年のワンショット売上、IAM事業売上が無くとも、当期は既存商材の継続成長が貢献

ソリューション事業

- ・ 電子契約Agree、ゲームエンジンPhotonが売上貢献

(単位：百万円)



クラウド・ホスティング事業

- IoT関連、研究開発およびカスタマーサポート費用を同事業に計上のため、利益縮小

セキュリティ事業

- 海外を中心に売上高増加
- IAM事業の減価償却費用終了、営業利益の増加に貢献

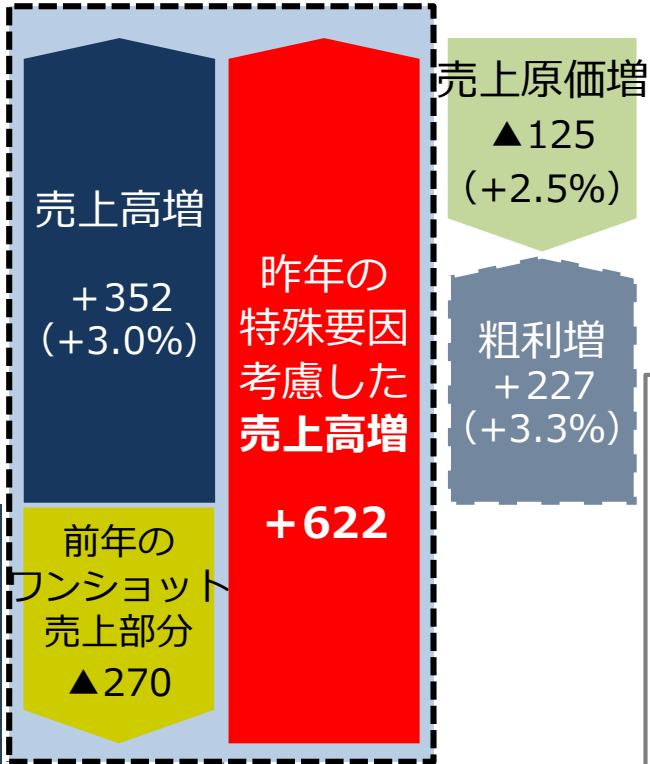
ソリューション事業

- 新規事業開始による費用負担

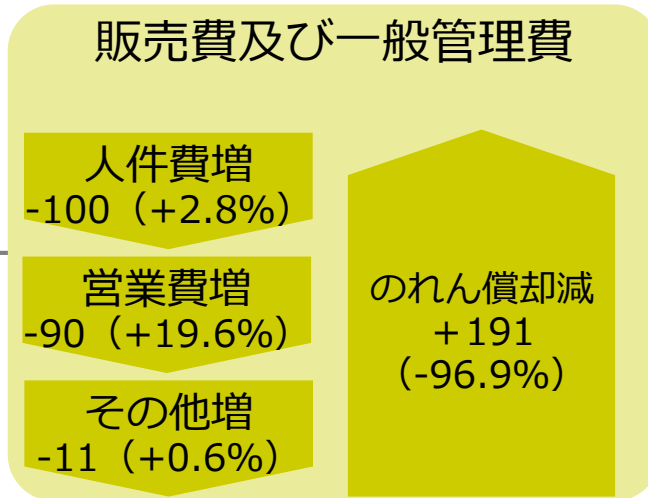
連結営業利益 増減要因 [年度比較]

単位：百万円
(前年比)

売上高要因



販売費及び一般管理費要因



1,061

売上高要因

- 前年のセキュリティ事業のワンショット売上2.7億円が消失も、既存の商材による売上高が大幅に増加

人件費・営業費増加要因

- セキュリティ事業の人員増強に伴う人件費増加
- CH事業のIoT関連等の販促費用増加

のれん減少による利益↑

- 前年IAM事業の子会社株式売却、当期はのれん負担減少

2016年

2017年

連結貸借対照表

単位：百万円	2016年12月末	2017年12月末	増減率	主な資産増減要因
流動資産	5,062	5,544	+9.5%	✓ 現預金の増加 525百万円
(現金預金)	3,170	3,695	+16.6%	
(売掛金)	1,375	1,350	-1.8%	✓ リース資産の減少 115百万円
固定資産	3,240	3,074	-5.1%	
(ソフトウェア)	448	671	+49.8%	✓ ソフトウェアの増加 223百万円
(のれん)	6	-	-	
(投資有価証券)	488	379	-22.3%	✓ 投資有価証券の減少 108百万円
(関係会社株式)	57	57	-	
資産合計	8,302	8,619	+3.8%	
負債	3,544	3,362	-5.1%	主な負債増減要因
(前受金)	1,442	1,554	+7.8%	✓ 未払金の減少 275百万円
(借入+リース債務)	667	514	-22.9%	✓ リース債務の減少 152百万円
純資産	4,757	5,256	+10.5%	
(株主資本)	4,566	4,957	+8.6%	
(その他包括利益累計)	158	261	+65.3%	✓ 前受金の増加 112百万円
(非支配株主持分)	32	36	+12.1%	
負債・純資産合計	8,302	8,619	+3.8%	

キャッシュ・フロー概要

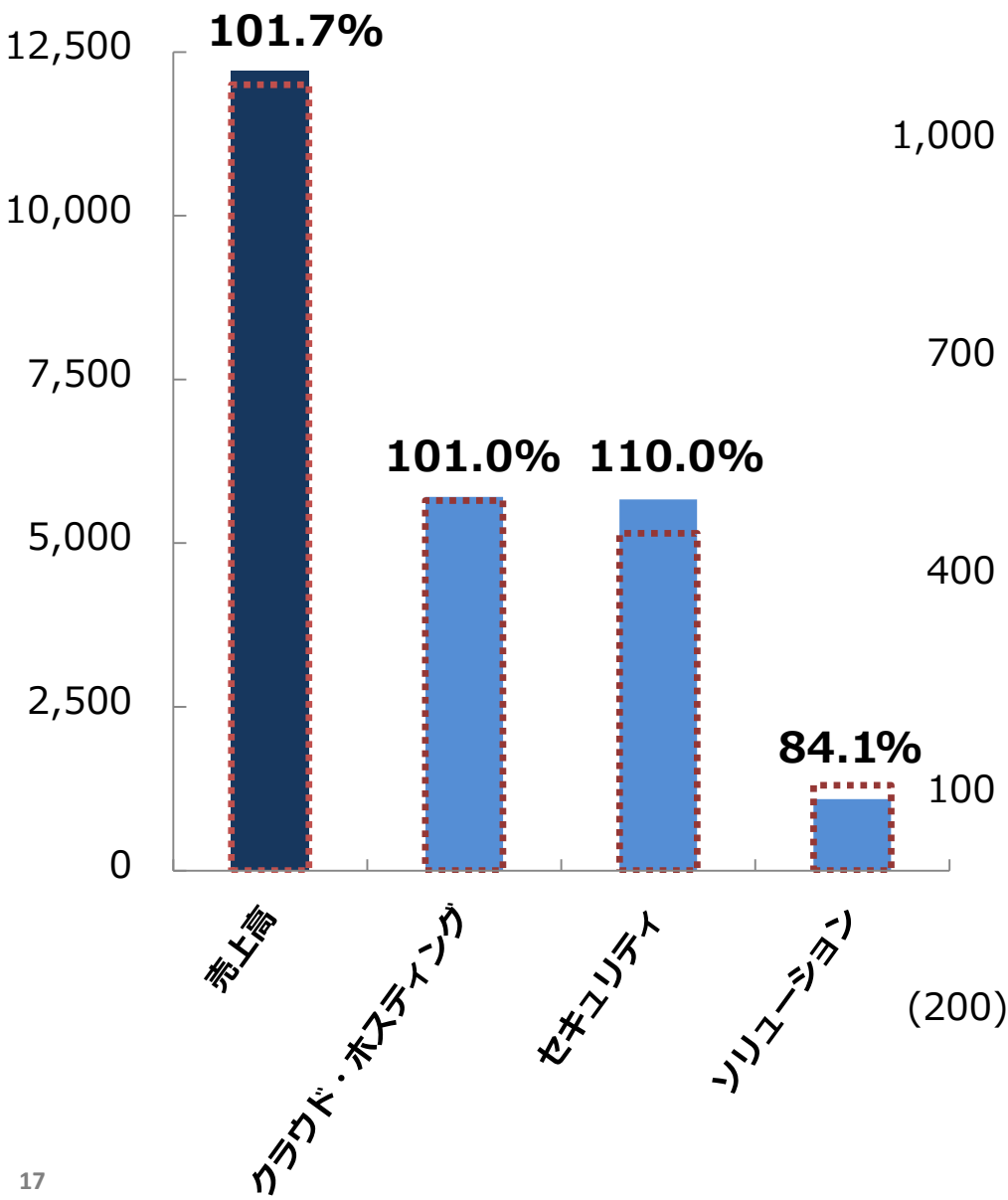
フリーキャッシュ・フロー※は、887百万円となりました

単位：百万円	2016年 Q4	2017年 Q4	
営業キャッシュ・フロー	1,530	1,557	税前当期純利益 + 967百万円 減価償却費 + 743百万円 子会社株式売却益 + 55百万円 投資有価証券評価損 + 161百万円 法人税等の支払 ▲ 197百万円
投資キャッシュ・フロー	-371	-670	固定資産の取得 ▲ 746百万円 投資有価証券取得 ▲ 52百万円 連結子会社株式売却 収入 + 69百万円
財務キャッシュ・フロー	-1,669	-472	配当金の支払 ▲ 244百万円 ファイナンスリース 債務返済による支出 ▲ 232百万円
現金及び現金同等物の 増減額	-609	475	
現金及び現金同等物の 期末残高	3,160	3,635	

※営業キャッシュ・フロー+投資キャッシュ・フロー

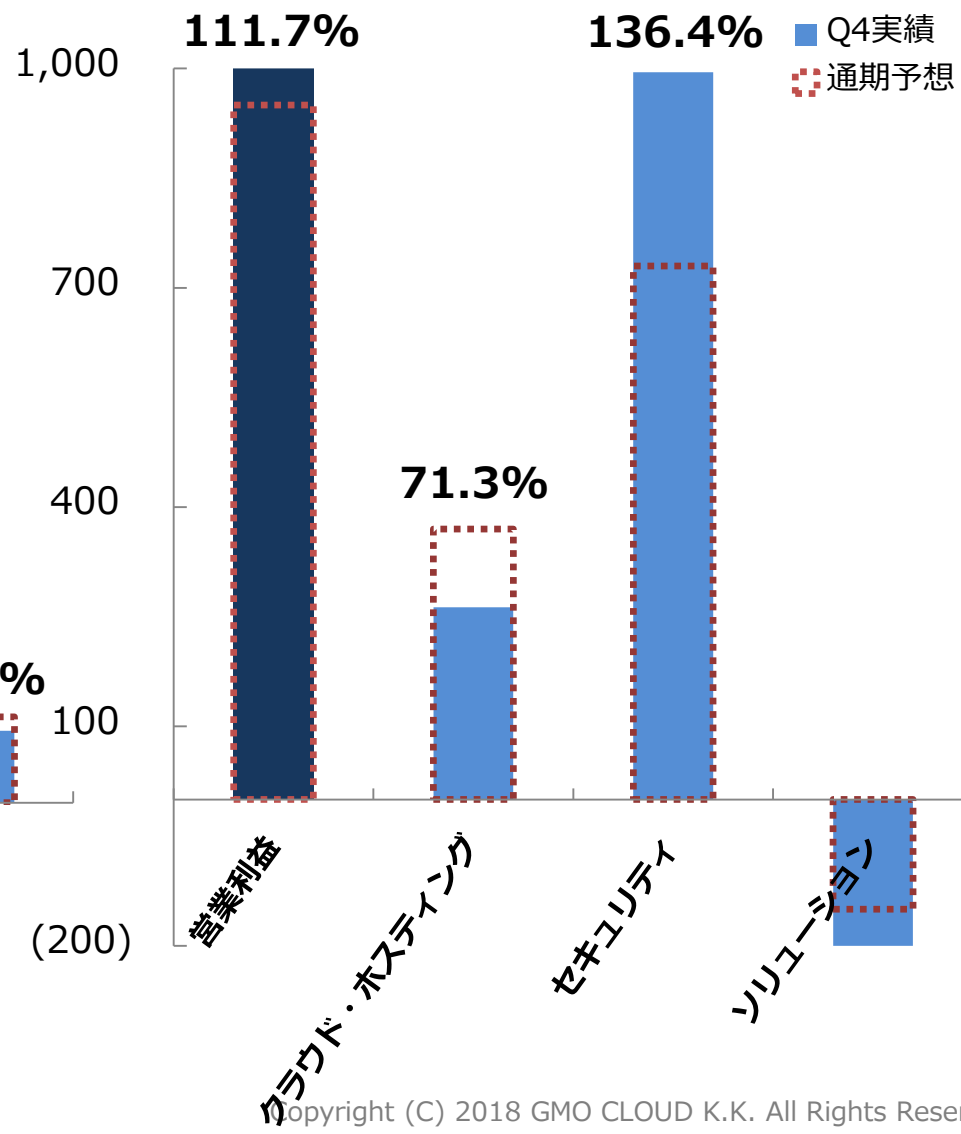
2017年 業績予実比較

売上高



営業利益

単位：百万円
(%は達成率)



2018年12月期通期業績予想

新規事業開発等の費用増加はあるものの、
セキュリティ事業続伸により増収増益計画

単位:百万円	2017年12月期 (実績)	2018年12月期 (予想)	2017年比
売上高	12,206	12,825	+ 5.1%
営業利益	1,061	1,167	+10.0%
経常利益	1,087	1,167	+ 7.4%
親会社帰属 利益	635	700	+10.1%
1株当たり 純利益(円)	55.17	60.77	-

- ✓ クラウド・ホスティングはIoT含む新規事業費用によりマイナス
- ✓ セキュリティは、IDアクセス関連の新規事業関連の投資継続

売上高

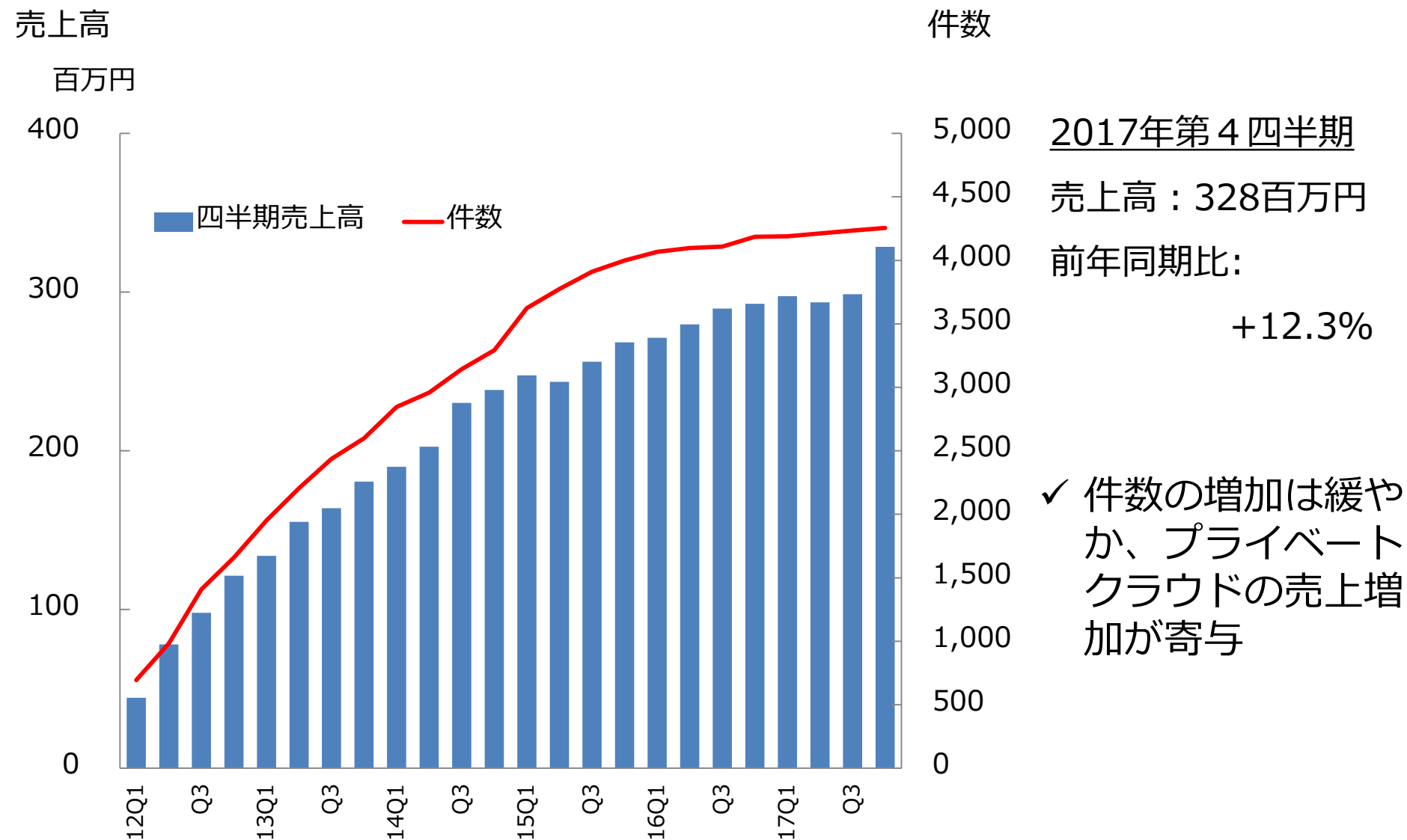
単位： 百万円	2017年 12月期 (実績)	2018年 12月期 (予想)	2017年比
クラウド・ ホスティング	5,707	5,722	+ 0.3%
セキュリティ	5,666	6,089	+ 7.5%
ソリューション	1,093	1,171	+ 7.1%
消去又は 全社	-260	-157	—
連結計	12,206	12,825	+5.1%

営業利益

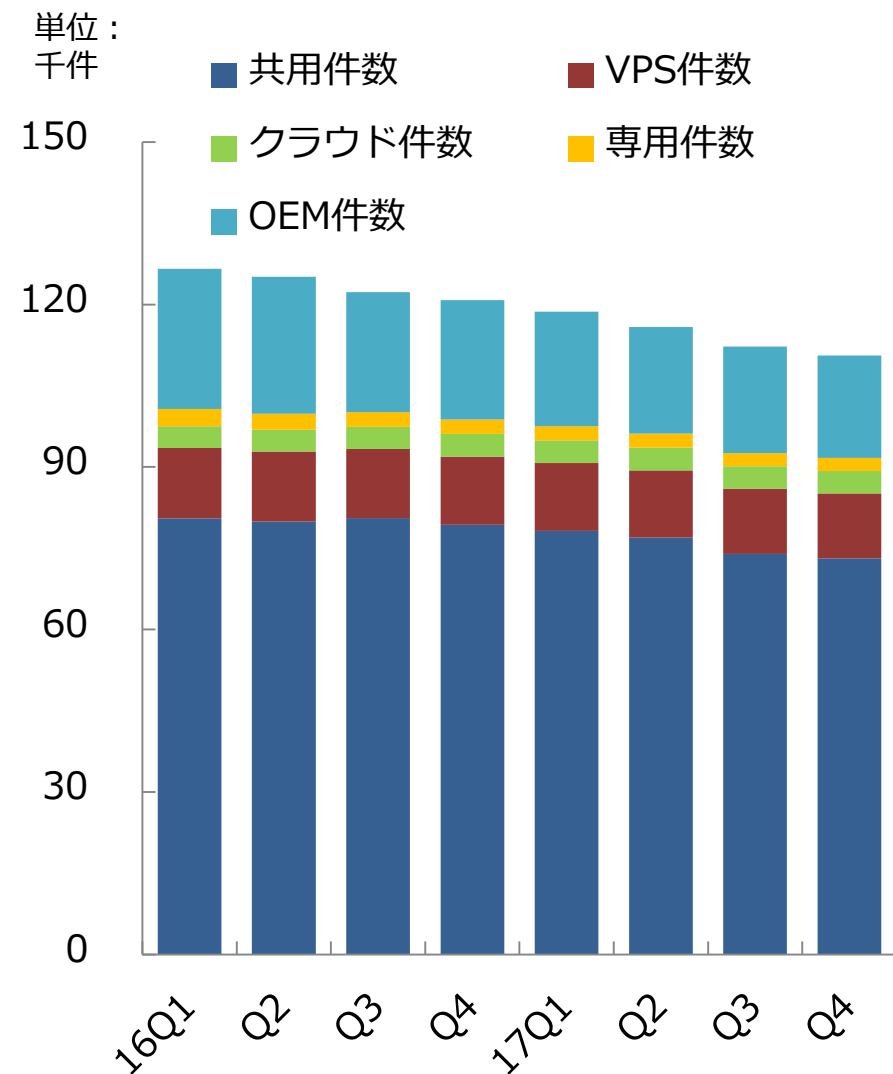
単位： 百万円	2017年 12月期 (実績)	2018年 12月期 (予想)	2017年比
クラウド・ ホスティング	263	187	- 29.1%
セキュリティ	995	1,088	+ 9.3%
ソリューション	-200	-108	—
調整	+ 2	+ 0	—
連結計	1,061	1,167	+10.0%

3. 事業概況 クラウド・ホスティング事業

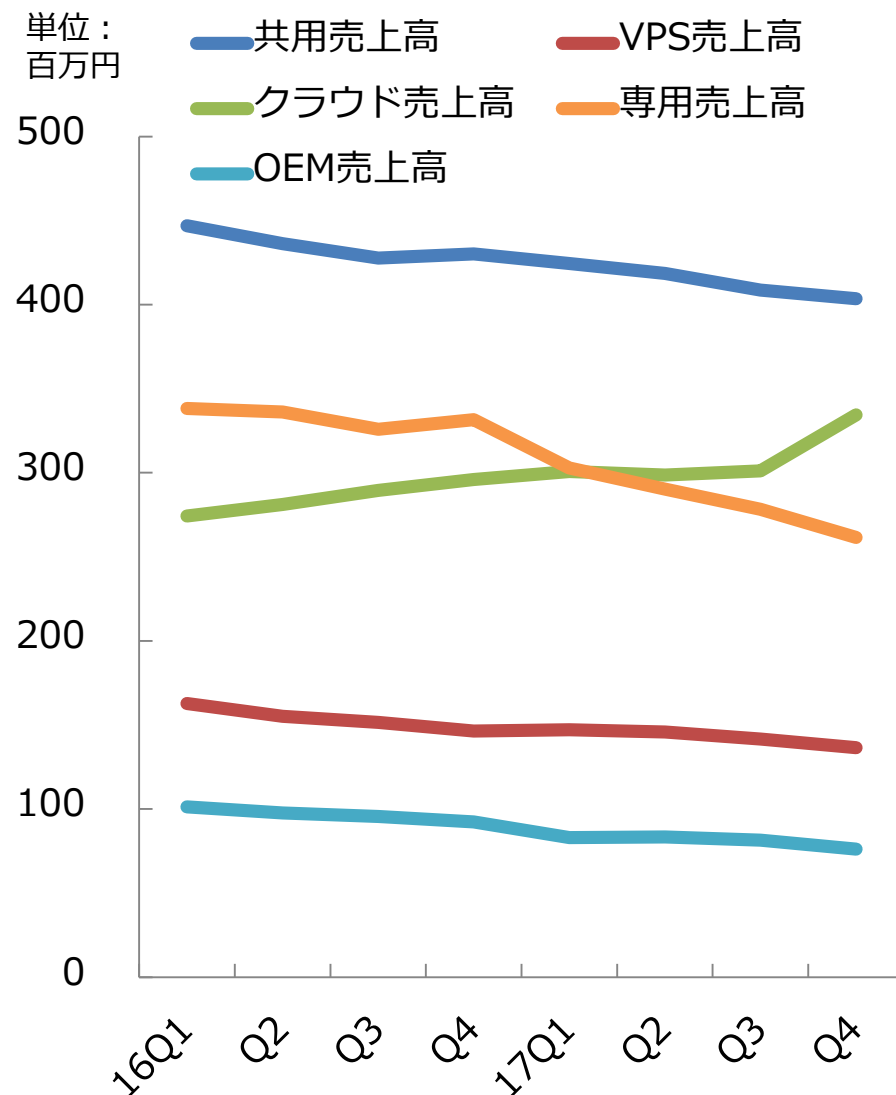
安全なクラウド基盤の提供



四半期別 商材別件数



四半期別 商材別売上高



3. 事業概況

セキュリティ事業

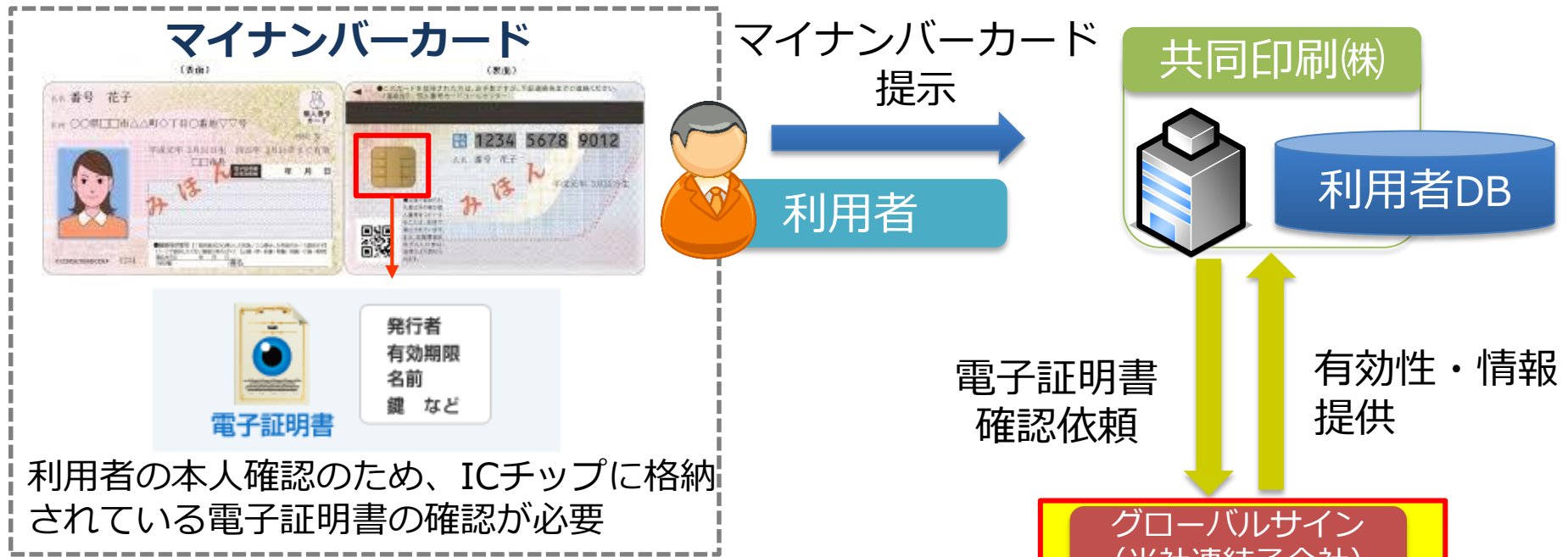
電子認証により、通信（取引）を守る

※2017年第1四半期よりIAM事業をセキュリティ事業に統合

セキュリティ事業 トピックス 1

「GMOオンライン本人確認サービス」を共同印刷が採用

導入することで、総務大臣認定等の煩雑な手続きやコスト無しに、マイナンバーカードによる本人確認を自社サービスに組み込みが可能

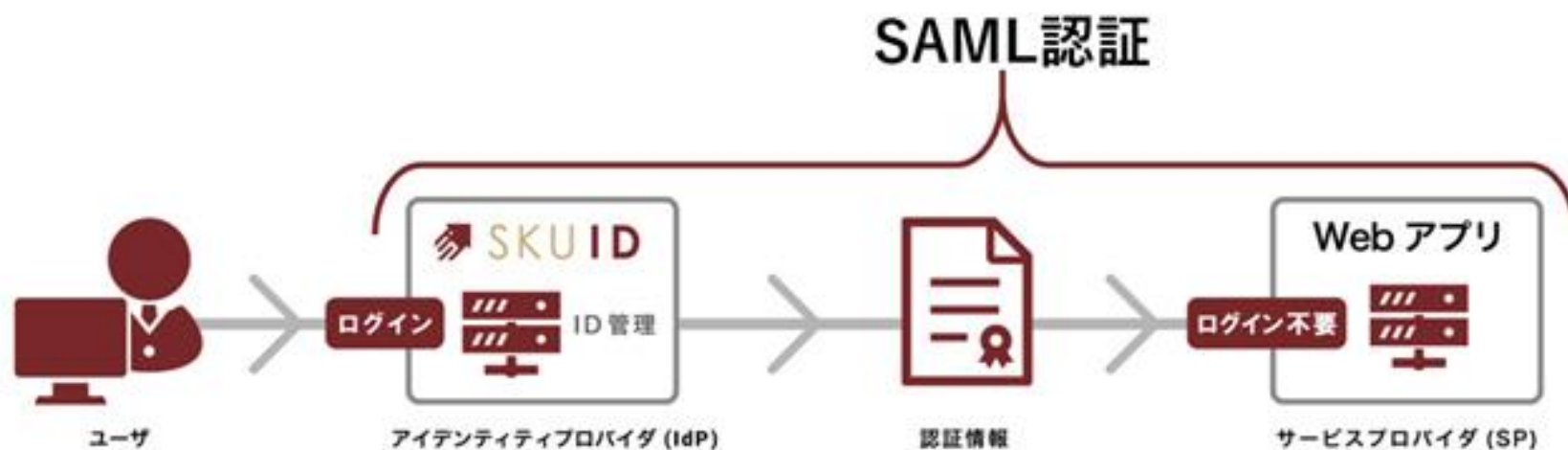


マイナンバー制度対応オンライン
本人確認サービスとは…
マイナンバーカードから本人情報確認を可能とするサービス。総務大臣より認可取得必須



IDアクセス管理「SKUID byGMO」、SAML認証に対応

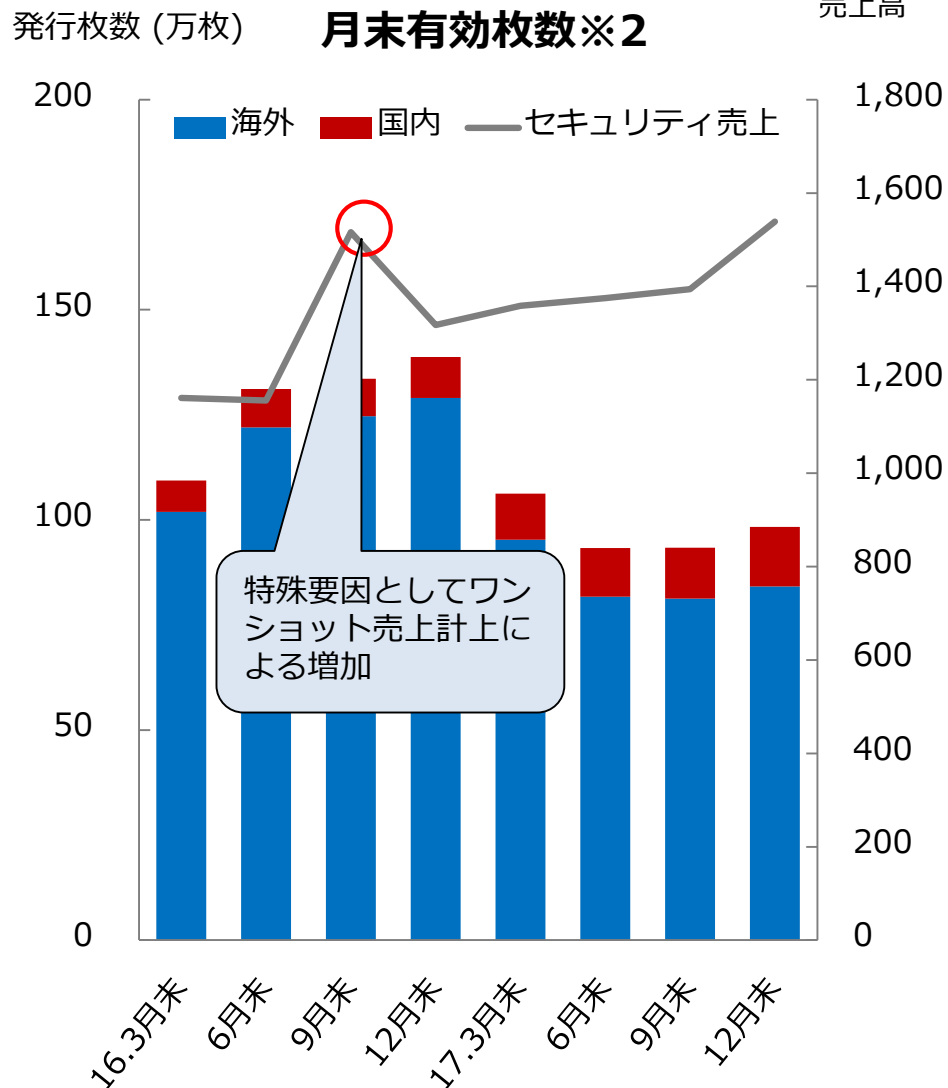
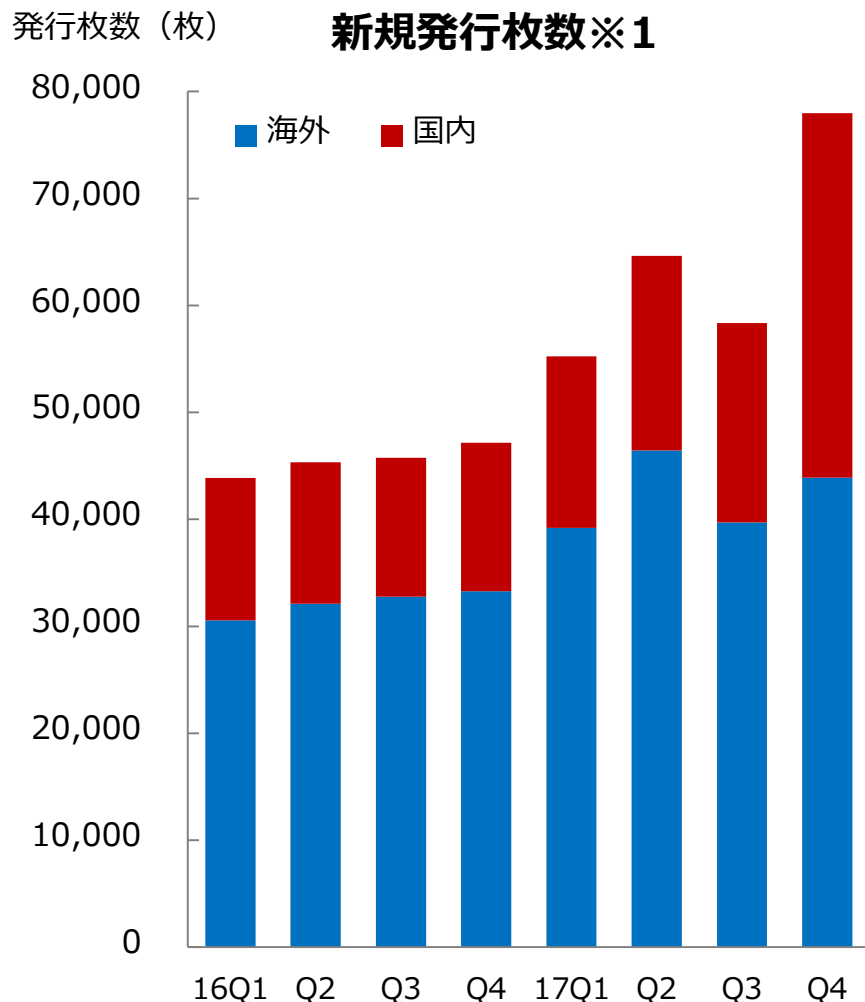
SAML認証対応により、対応するサービスのID/パスワードの発行・管理が不要となる「SAML認証」によるシングルサインオンを無料で利用可能



SAML連携の拡大を推進中。「G Suite」含む、7サービスにおいて連携検証が完了

G Suite / チャットワーク / Cybozu / Dropbox / Salesforce / X-point Cloud / Zoho

国内新規発行枚数が増加。海外売上増加に伴い売上増加



※1 枚数無制限契約及び毎月大量発行の枚数を調整した数値

※2 有効枚数とは、現在電子証明書の有効期限内であり実際に利用されているアクティブな枚数

3. 事業概況

ソリューション事業

企業のクラウド利用を支える・便利にする

「スマート電子タグ」、 八重洲ブックセンターにて実証実験を実施

- ✓ インターネットを通じて遠隔で表示内容の切り替え可能
- ✓ 搭載されたセンサーが店頭での購買者の行動を感知し、そのデータを取得・蓄積

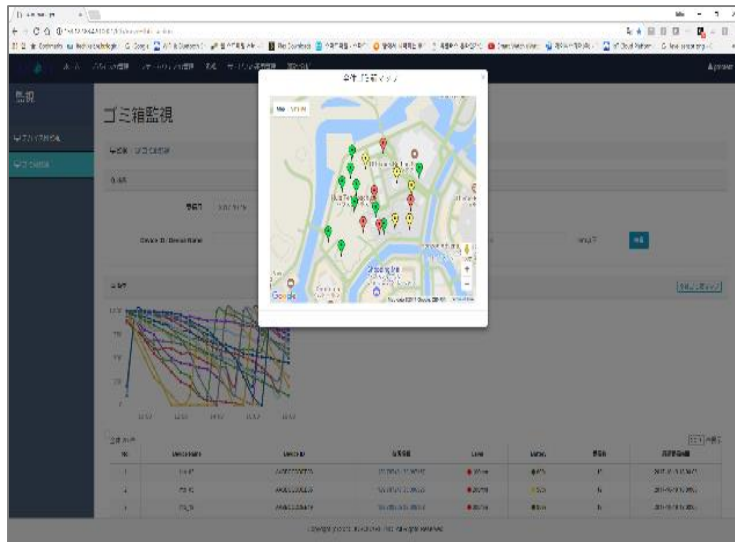


IoTの窓口 2

「IoT対応のゴミ箱」、ハウステンボス内にて実証実験を実施

- ✓ IoT活用によりリモートでゴミの量を把握で業務効率化
- ✓ 今後は、大型リゾート施設、モール等への展開を検討

ゴミが満杯になりそうなタイミングで、スタッフが装着している
ヒアラブルデバイスに通報し、非効率なゴミの確認・回収作業を削減



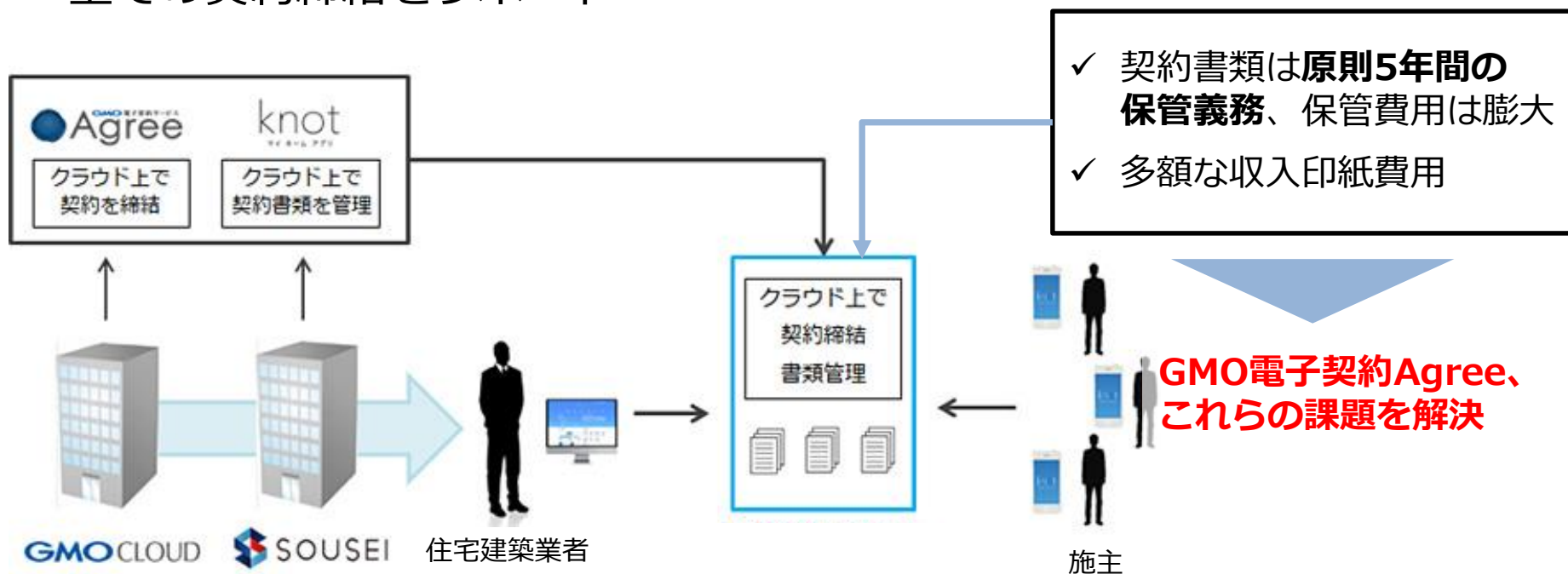
ハウステンボス園内にIoT対応ゴミ箱を18個設置し、
ゴミ箱のたまり具合を自動で把握



園内に設置されたゴミ箱

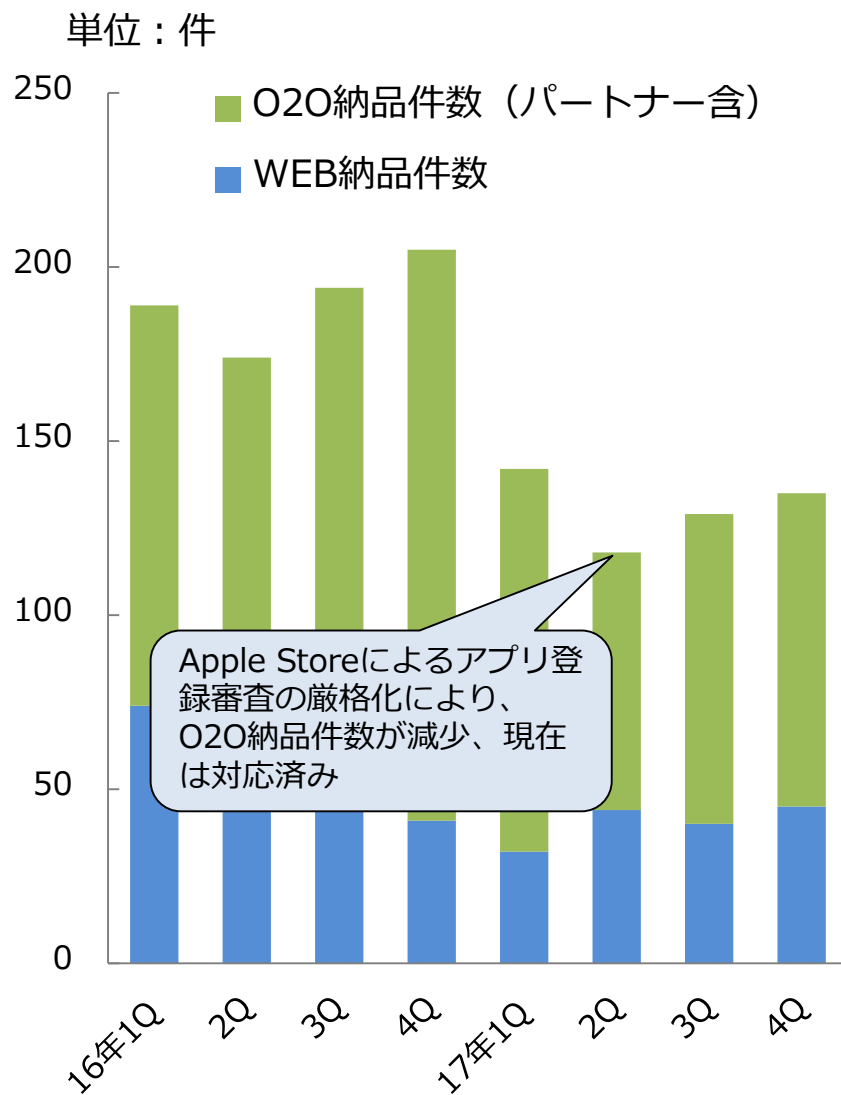
利用社数は前年同期で3倍弱の800社まで増加！

- ✓ 8月には、ソフトバンクC&Sの不動産賃貸契約専用電子契約サービスのプラットフォームへ「Agree」システムを提供
- ✓ 9月にSOUSEIの住宅情報管理アプリ「knot」と連携し、Agreeがクラウド上での契約締結をサポート



電子契約とは、既存「紙+印鑑」の契約形態に代わる「電子データ+電子署名」による新契約形態

納品件数の推移



2017年第4 四半期

【HP制作】

売上高： 27百万円

納品件数： 45件

【O2O（GMOおみせアプリ）制作】

売上高： 36百万円

納品件数： 90件

トピックス

10月に商店街向けに「商店街アプリプラン」を提供開始。

第一弾、北海道札幌市の南平岸商店街アプリ「なんぴら」をリリース。



GMO CLOUD

コトをITで変えていく。



当資料に関するお問い合わせ先

GMOクラウド株式会社

社長室 IR担当 池谷、松下

TEL : 03-6415-6100

E-mail : ir@gmocloud.com または

<https://ir.gmocloud.com/contact/ir/>

よりお問い合わせください。